

授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅱ 実習	必修・選択の別	選択	単位数	3
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

保健行政機関における公衆衛生看護活動に参加することで、個人・家族の健康増進の主体的な対処能力を高める支援方法を習得するとともに、それらの個別支援の蓄積や既存資料からの情報を融合させ地域の健康課題を明確化し、課題の改善に向けて住民とともに地域の資源を活用しながら、全ての人が健康に暮らせる社会を構築する公衆衛生看護活動の過程を学ぶ。健康危機管理を含めた公衆衛生活動基盤や包括的な支援体制構築について理解し、公共政策として公衆衛生看護が提供される意義を考察することを通じ、保健師として基本的な知識・支援技術および支援姿勢を習得する。

【到達目標】

1. 様々な健康段階にある人々に対する、個人・家族の主体的・発展的な健康づくりの能力の発揮を目指した支援方法を、保健事業等の見学・参加や実践を通じて習得する。
2. 学内演習で行った地域診断と、実習で経験した支援場面や地区踏査で得た考察を関連付けることで、地域の健康課題について再考する。
3. 地域の健康課題への改善策としての保健事業・保健計画等を理解し、地域の社会資源を活用し住民とともに地域の健康課題を解決する公衆衛生看護の取り組みについて説明できる。
4. 様々な関係機関や住民組織等との連携を通じて、地域の包括的な支援体制の構築について説明できる。
5. 健康危機管理を含めた公衆衛生活動基盤に関する学びや各種保健事業の参加・実践を通じて、公共施策として持続的に公衆衛生看護が提供されることの意義を考察し、保健師の役割や支援技術・支援姿勢を説明できる。

【授業計画・内容】

1. 実習概要

実習オリエンテーションで提示する（詳細は実習要項を参照）

2. 実習施設

秋田県内の県保健所（4か所）と県保健所管内の市町村（4か所）

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

春季休業中、事前学習課題を調べて提出する。

実習開始前に、実習施設の健康課題から健康教育・健康学習の企画書・指導案を作成する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生学」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「公衆衛生看護管理論」等の公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生学、社会福祉概論Ⅰ、社会保障論Ⅰ、公衆衛生看護学概論、健康教育論、保健医療福祉行政論、疫学、保健統計学、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ、公衆衛生看護活動展開論Ⅱ、公衆衛生看護活動展開論Ⅲ、公衆衛生看護管理論、成人保健活動論、高齢者保健活動論、母子保健活動論、健康課題別活動論Ⅰ、健康課題別活動論Ⅱ、公衆衛生看護技術論、家族看護論などで使用した教科書および配布資料、実習施設について収集した資料などを活用する。

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

事前学習課題（10%）、実習内容・実習記録・実習指導者の評価（90%）を総合して評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験のある教員が事前学習や実習地の巡回を担当し、今までの学びを体験的に学び習得できるよう指導します。

【学生へのメッセージ】

実習施設において、保健師活動を実際に学ぶことができる貴重な実習です。これまで学内で学んだ知識や技術を活用して、各自が実習目標を持って、主体的および意欲的な姿勢で実習に臨みましょう。